

A steam locomotive pulling a passenger train through a station with overhead power lines. The locomotive is emitting a large plume of dark smoke. The train is moving towards the viewer. The background shows a station building with Japanese characters and a complex network of overhead power lines.

JCI 鳥栖運動ビジョン2024

鳥栖JC運動宣言2019

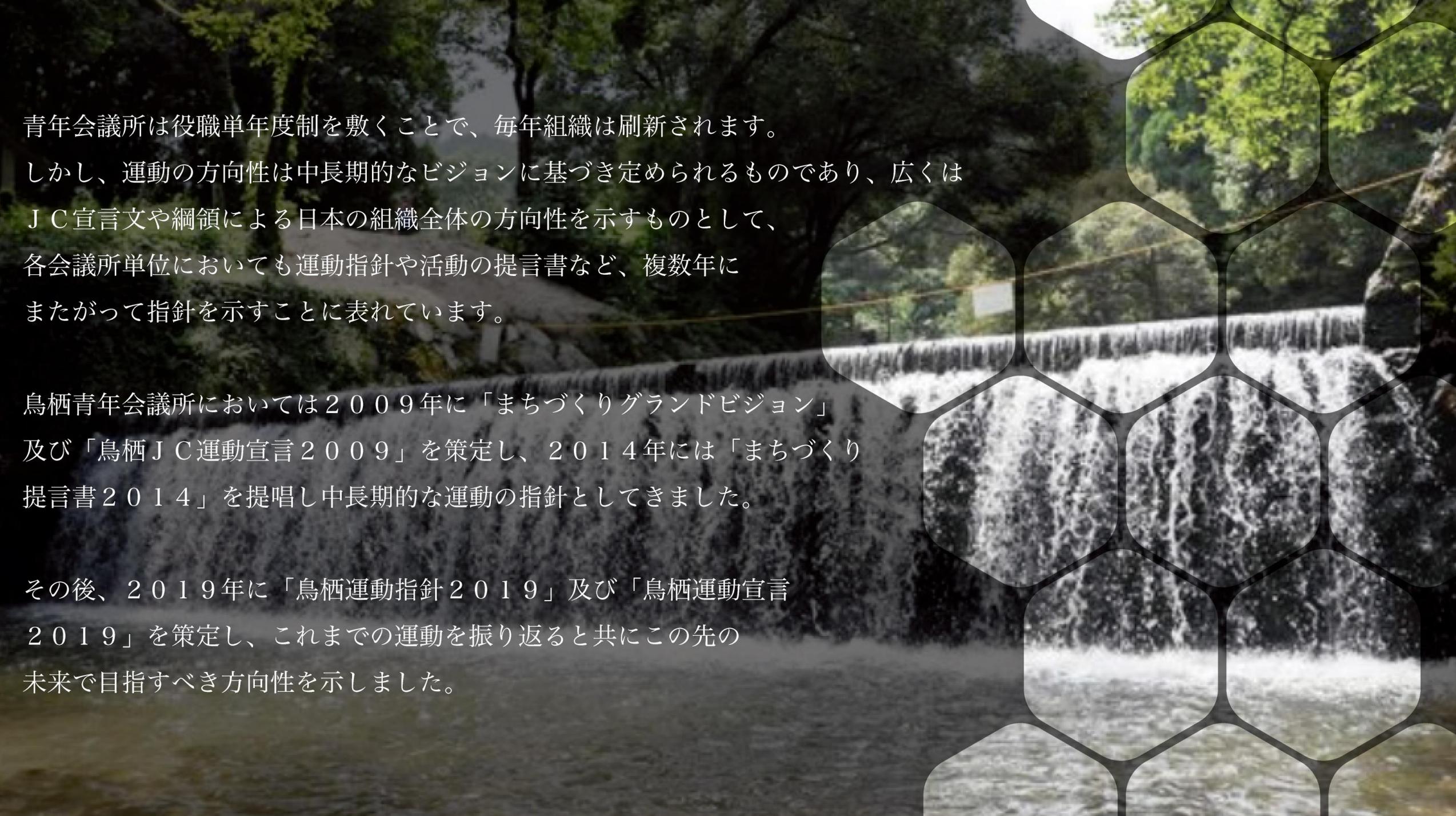
われわれ鳥栖JCは日本の心を育み、地域・国を愛するひとを創り、九州のかなめとして、世界へ誇れるまちの創造を目指し、運動することを宣言する

はじめに

1949年、戦後の荒廃の中、「新日本の再建は我々青年の仕事である」という使命感と覚悟のもと、志を同じくする若き青年達により日本の青年会議所運動は歩みを始めました。

それから10年後の1959年、その志に共鳴したこの地域に住み暮らす青年達により鳥栖青年会議所が設立され、「修練」「奉仕」「友情」の三信条のもと、「明るい豊かな社会の実現」を目指した運動が脈々と展開され、時代の移り変わりによって社会の課題も変化
する中、その時代を生きる諸先輩方の活力と情熱、そして
弛まぬ努力によりこの2024年に鳥栖青年会議所は創立
65周年を迎えました。

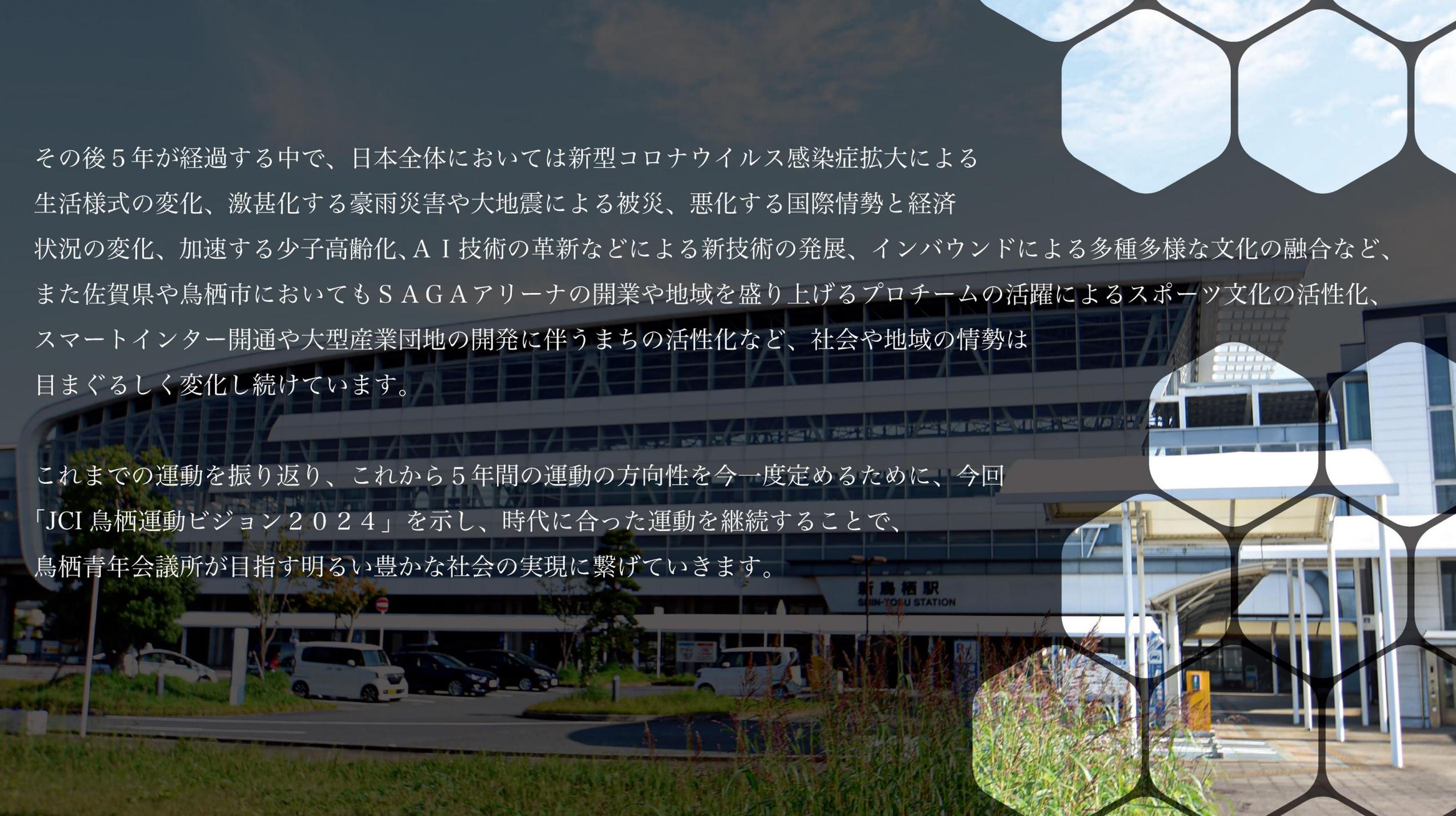




青年会議所は役職単年度制を敷くことで、毎年組織は刷新されます。
しかし、運動の方向性は中長期的なビジョンに基づき定められるものであり、広くは
J C宣言文や綱領による日本の組織全体の方向性を示すものとして、
各会議所単位においても運動指針や活動の提言書など、複数年に
またがって指針を示すことに表れています。

鳥栖青年会議所においては2009年に「まちづくりグランドビジョン」
及び「鳥栖J C運動宣言2009」を策定し、2014年には「まちづくり
提言書2014」を提唱し中長期的な運動の指針としてきました。

その後、2019年に「鳥栖運動指針2019」及び「鳥栖運動宣言
2019」を策定し、これまでの運動を振り返ると共にこの先の
未来で目指すべき方向性を示しました。



その後5年が経過する中で、日本全体においては新型コロナウイルス感染症拡大による生活様式の変化、激甚化する豪雨災害や大地震による被災、悪化する国際情勢と経済状況の変化、加速する少子高齢化、A I 技術の革新などによる新技術の発展、インバウンドによる多種多様な文化の融合など、また佐賀県や鳥栖市においてもSAGAアリーナの開業や地域を盛り上げるプロチームの活躍によるスポーツ文化の活性化、スマートインター開通や大型産業団地の開発に伴うまちの活性化など、社会や地域の情勢は目まぐるしく変化し続けています。

これまでの運動を振り返り、これから5年間の運動の方向性を今一度定めるために、今回「JCI 鳥栖運動ビジョン2024」を示し、時代に合った運動を継続することで、鳥栖青年会議所が目指す明るい豊かな社会の実現に繋げていきます。

まちづくり

01

個性溢れるまち

02

多様性

03

果たすべき役割



鳥栖 JC 運動宣言 2019 を
実現するための VISION

ひとづくり

04

利他の心

05

地域への誇り

06

新たな知識の習得

まちづくり 3つのVISION



01 個性溢れるまち

地域資源を生かした活気ある地域の創造、私たちにとっては当たり前のことでも他の地域から見ると、そして初めてこの地を訪れる人にとっては貴重な体験かもしれません。当たり前を見直し、地域の魅力を俯瞰的に捉えることで新たな価値を創出し、活気ある地域の創造を目指します。



02 他文化共生を軸にした多様性のあるまち

多様な文化や背景を持つ人々が共存し、互いに尊重し合いながら共生することで、他の地域とは一線を画す「多様性のまち」として発展する可能性を秘めています。他文化を尊重し、互いを認め合う社会を構築することで、グローバルな視点と地域の特性を融合させた個性あふれるまちを目指します。



03 防災拠点としての地域の役割を強化するまち

九州の交通の要衝という地理的特性を活かし、災害時の「救済のまち」として役割を果たすことが必要です。地域住民だけでなく、他地域をも支援する防災拠点としての構築を進めることで、地域の安全性を強化し、災害に強く、住民が安心して暮らせる「防災先進地域」としての個性を持つまちづくりを目指します。

ひとづくり 3つのVISION



04 利他の心を胸に

日本人特有の謙虚さや相手を思いやる和の精神は、現代社会の生きづらい世の中だからこそ必要不可欠な考え方であり、自分よりも相手のことを優先できる「ゆとりのある心」を兼ね備えた、親切心をもった人財を育成することを目指します。



05 「鳥栖」という地域に対する誇りを

シビックプライド（地域自治体に対する住民の誇りや愛着、地域社会に貢献する意識）を高めるための『地域の魅力発信』、『住民参加型のイベント開催』、『地域学習』を通じて、自ら行動する人財を育成することを目指します。



06 IT・DXに関する知識を身につける

デジタル技術を社会の課題解決の一助とするべく、人々の社会に浸透させ、既存の枠に捉われない新たな考えや行動を起こすことが求められます。私たちはデジタル技術の可能性を理解し地域に還元していくことを目指します。